

イフジ産業の鶏卵相場予想

2026年 **07月** の鶏卵相場予想

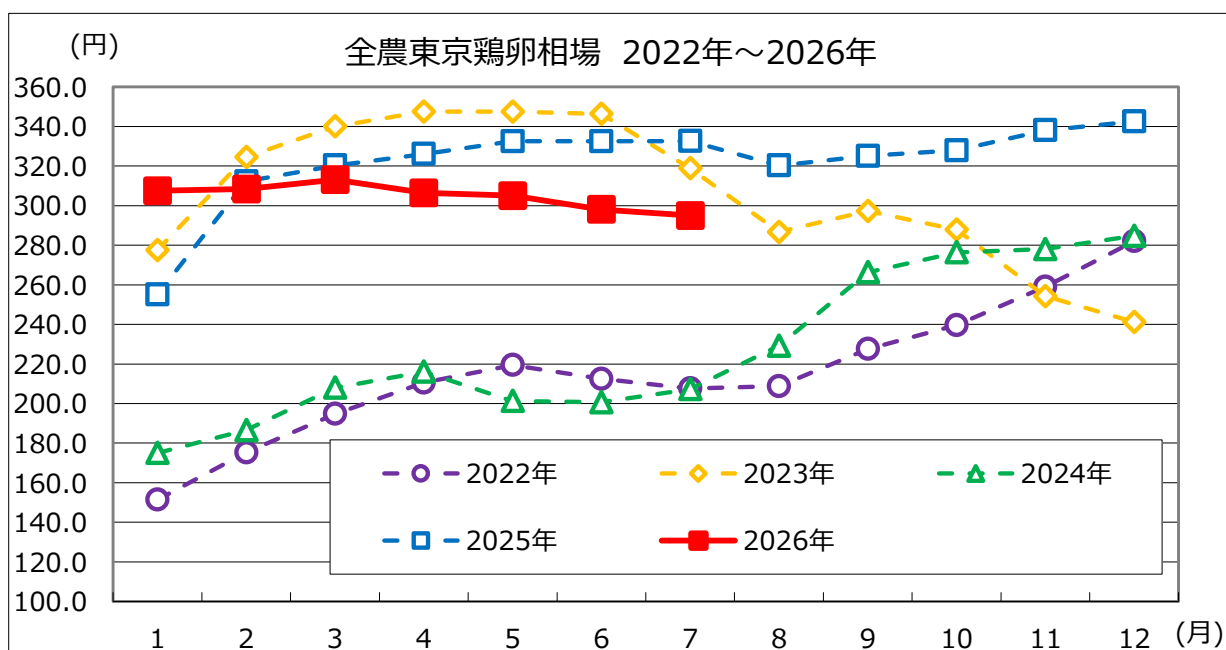
295円

(全農東京相場LM加重平均)

6月の相場ですが、Lサイズ295円・Mサイズ315円にてスタートしました。4日には両サイズとも5円下落、11日にも両サイズ5円下落しました。その後は現在に至るまで保合となっております。(2026年6月25日時点のLM加重平均は298.0円)

供給面に関して、飼養羽数は前年比101.7%となっており、先月に引き続き生産量は安定した状況となっております。また、気温の上昇・梅雨時期であることから小玉の生産量も増加傾向となっております。一方の需要面において、徐々に減退していく時期に入っている事や梅雨入りに伴う外出機会の減少等もあり、全体的に鈍化している印象です。さて、7月の相場予想ですが、供給面に関しては飼養羽数の増加に伴って安定しておりますが、本格的な夏場突入していく事もあり、鶏へのダメージ及び熱死によって飼養羽数の減少が懸念されます。また、卵重が低下してくるため、小玉の生産量が更に増加してくる事が予想されます。需要面に関しては、更なる気温上昇によって減退していくものと思われます。また、7月から鶏卵使用の食料品の値上げも予定されているため、その消費動向によっても変化していくものと思われます。

7月の鶏卵相場に関して、上記記載の要因に加えて7～9月における配合飼料価格の値上げ等を勘案すると、月間LM加重平均は保合となる295円付近と予想致します。ただ、今後の需給ならびに中東情勢の影響によっては鶏卵情勢を取り巻く環境が変化していく可能性が高いため、引き続き注視していく必要があります。



※2026年06月の相場は06月25日までの平均値。2026年07月は予想値。

※予想は当社独自のものであり、あくまで予想です。

※この情報に関するお問い合わせ等はご遠慮ください。

Egg ×
Something =

「タマゴテック」でライフスタイルの殻を破る

